



## 地震・洪水を想定した避難訓練の様子!

6月6日(木)に、『地震・洪水を想定した避難訓練』を加茂谷幼稚園児と吉井小学校児童の合同で行いました。1月1日に発生した能登半島地震をはじめ、最近、四国近隣においても地震が発生しております。この機会に、地震への備えと防災意識を高めたいと考えております。

今回は、9時40分ごろ、地震発生校内放送を流しました。内容は、「訓練、訓練。ただいま強い揺れが起きました。素早く身の安全を守る行動をとりなさい。(繰り返し2回放送を流す)」。少し時間をおいて、「揺れがおさまりました。先生の指示に従って運動場に避難しましょう。」でした。

子どもたちは、それぞれの教室で、まず、机の下にもぐってそれぞれに身の安全を守りました。その後、担任の先生の指示に従って、各自防災頭巾をかぶって静かに第一次避難場所としての運動場に集合し、人数確認と第一次避難についての確認を行いました。

さらに、地震による洪水を想定し、第二次避難場所としての校舎3階教室(理科室と音楽室)へ避難しました。

避難訓練終了後、子どもたちは各教室へ帰り、担任の先生と本日の避難訓練のまとめを行いました。避難の際の注意事項(静かに放送をよく聞く、おさない、はしらない、しゃべらない、もどらない)について確認をしました。また、今回は校内放送を使うことができたが、「停電により放送が使えなかったり」、「運動場に避難ができなかったり」と、いろいろな状況を自分でも想定し、安全に行動できるよう各学年に応じた事後指導を行いました。

今回の避難訓練を通して、「自分の命は自分で守るために、どのように行動するべきか」について日頃から考えておくことが大切だということを子どもたち一人ひとり、意識することができました。引き続き、日頃からの危機意識を高めていきたいと思っております。



<机の下にもぐって身を守っている>



<運動場へ避難している>



<人数の確認をしている>



<第二次避難場所の3階へ避難中>



<3階の避難場所(理科室・音楽室)>



非常災害等の際の心構えとしては、「自分の命は自分で守る」という意識を高めることは、必要不可欠です。

※人と人との絆やつながりを強めることが重要である。

ご家庭でも参考に見てみてください。